

# 提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<豊明市いのち支える計画(豊明市自殺対策計画)(案)>

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	平成27年から平成29年の自殺者数が6~7人であるが、計画の基本目標が平成31(2019)年から平成35(2023)年の平均の自殺者を7人未満まで減少させるというのは、現状維持ということでしょうか。半減もしくはゼロを目標にしなければ、何のための計画かわかりません。目標数値の再検討をしていただきたい。	1	ご意見いただきありがとうございます。 基本目標の設定については、国及び愛知県の目標値を参考にし、それよりも高い目標とし、5年間の平均としました。5年間平均の前期分の数値は、「8.2」であり、設定した目標値は妥当であると考えています。ただ、ご指摘のとおり、近年は低い数値で推移していますので、今後も目標値の検証をし、必要に応じて見直し等を実施してまいります。また、本計画中市長あいさつの冒頭にもありますように、自殺者「0」の社会の実現が、私共も同様に願っていることとさせていただきます。

# 提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<豊明市いのち支える計画(豊明市自殺対策計画)(案)>

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
2	<p>「学校教育に関わる人への啓発」の中で、「教員に対して、自殺予防に関する啓発資料等を配付し、自殺対策意識の向上を促し…」とあるが、資料の配付だけでは、多忙な教員の意識向上や、自殺予防教育の展開にまで結び付くとは思えません。例えば、教員を対象としたゲートキーパー研修を実施したり、子どもがSOSをどのように誰に出せばよいかの授業を行うなど、具体的な対策が必要です。</p> <p>「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」という項目があるが、現在も行っているものばかりで、SOSの出し方とは無関係です。相談窓口を配布しただけでは、子どもたちがどのように、誰にSOSを出せばよいのかわかりません。</p> <p>今後、豊明市の子どもたちの中から一人も自殺者が出ることをないように、生きづらさを抱えている子どもたちが一人でも多く心の重荷を降ろせるように、本気の対策が必要だと考えます。</p>	2	<p>ご意見いただきありがとうございます。SOSを子どもが出せるようにすることは、非常に重要なことと考えています。学校教育で取扱う内容は多岐にわたっていますので、学校の現状や実態を考慮しつつ、教育委員会とともに、よりよい自殺予防教育の具体的な方法について探っていきたいと考えます。</p>